



お坊さんステーションにたま
に出演しています。
毎週火・金 午後 6 時 10 分
FM福山 77.7mh

山門修復と本堂屋根 瓦修繕について

放送予定
9月14日
9月21日

正善寺にある唐様の山門の梁の一部が腐食していたことが分かり、修繕の工事等について役員会を2度開催いたしました。またその後本堂の屋根瓦をつなぐ漆喰の部分が壊れていることが分かり、合わせて修繕の工事を行うことになりました。(中略)無事工事も終了いたしました。



正善寺墓地 の補修工事 について

正善寺裏らある墓地では、のり面(土部分)が一部崩れて下に土や石が落ちてきていました。西側部分については先日、正善寺の会計より工事をしました。また不具合があれば少しずつですが、直していきますのでよろしくお願ひします。



正善寺奉仕 活動について

この度、役員会におきまして正善寺の景観を維持するために草刈りや剪定を奉仕でして頂くことになりました。

奉仕ですので、どなたでも参加いただけますが、鎌、草刈り機等は持参いただければと思います。また今後の活動としては奉仕活動や研修旅行等を企画していきたいと思ひます。

第1回奉仕活動 11月17日 午後2時より4時まで

- 8月15日 9時 盆法要 講師：当山住職
- 11月17日 17時 報恩講速夜 講師：上記
- 11月18日 10時 報恩講法要
講師：世羅組 浄楽寺 栗原一乗師
- 12月31日-1月1日 除夜会・元旦会

浄土真宗本願寺派 熊原山 正善寺

〒720-1621 広島県神石郡神石高原町李 416

TEL/FAX0847-82-0401

HP <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~shozenji/index.html>

BROG <http://blog.goo.ne.jp/kuma1098>

御 法 名 拝 受

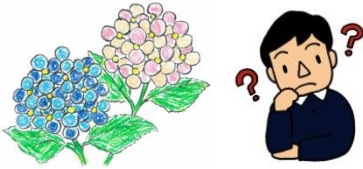
10月14日、神石組親鸞聖人750回大遠忌法要に参拝されて御法名を拝受される儀式（帰敬式）を受け、御同朋の仲間として生まれましたこと、報告申し上げます。

帰
敬
式



ひとはみる花をえらぶけど
花はみる人をえらばない

花が大好きだった祖母がよく言っていました。花はまさに仏のすべてを受け入れるという慈悲の願いをさしています。



なるほど仏具⑤「お香」



「香」は仏教に深い縁があります。仏壇はもとより、各種仏教儀式には欠かせません。香の風習が生まれた原因は、インドの地が酷熱の地帯であったことによるといわれています。注意を怠るとたちまち腐敗や臭気が強くなります。そこで香に対する関心が高まり、人を招くときは部屋の臭気を消したり、自分の体から発する臭気を消すために香を塗ったりしました。

ヨーロッパの香水も同じ発想です。日本人は、もともと体臭が薄い民族ですから自然発想ではなく、宗教や他文化の伝来とともに浸透していったことなのでしょう。。

さて仏教では「焼香（しょうこう）」「塗香（ずこう）」を、仏を供養する方法に取り入れました。

焼香とは、今でもお葬式の風習などに見られる香を焚く方法です。

塗香は、香を手や身に塗って、体を清めること。また、仏像や修行者の体に塗って、汚れを除くこと。

香の種類は多く、有名なものとしては、伽羅（きゃら）、沈香（じんこう）、白檀（びやくだん）、龍脳香（りゅうのこう）、爵香（じゃこう）、丁子香（ちょじこう）などがあげられる。香が日本に伝わったのは天平時代ごろとされています。現在では、香を粉末にして水を混ぜて作った「練香（ねりこう）」、さらにはそれを乾燥させた「抹香（まっこう）」を用いるケースが多いですね。

「抹香臭い」「抹香鯨」はここから生まれた語。焼香に用いるのも、この抹香です。また「線香」は宋から渡来し、禅宗、浄土宗を通じて一般に広まったもの。

ちなみに、線香一本の燃え尽きる時間は約五十分。これを「いちゅう」といい、坐禅をする時間の目安などにしているそうです。

最近ではマイお香が密かにブームです。好みの香合(お香を入れるもの)に自分の好きなお香を入れて、葬儀や法事の焼香の時にさり気なくマイお香をくべると何ともいえない良い香りがして、周りがいい香りになります。お勧めですよ。。